

健 名美アパレルと介護で協業

谷 認知症患者向けチュニツク販売

繊維製品卸の谷健（名古屋）向け衣料ブランド「キアレツ市、谷佳津臣社長）は、高齢者「タ」を販売している名美アパレル



おしゃれを楽しむデザイン「キアレツ」

ル（名古屋市、前野いずみ社長）と共同で、介護や支援を必要とする高齢者を対象としたビジネス構築を進める。

手始めとしてこのほど、両社と日本福祉大学の商社エヌ・エフ・ユーとの三者による「認知症患者の機能低下をカバーするチュニツク」プロジェクトとしてクラウドファンディング「マクアケ」に参加。キアレツブランドで紹介している、チュニツクは「否定しない洋服」「余白を残す」「おしゃれ」がコンセプト。「否定しない洋服」は、空間認知が衰えた認知症患者が精神的ストレスを抱えないように前後を違えても違和感のないデザインにした。「余白を残す」では、袖ゴムの取り外しを可能にするなど使い手が好みで自由に選択できる余地を取り入れた。また「おしゃれ」では、食事時に食べ物を洋服に落としてもその部分を取り外せ、普通に食事ができるように共地のエプロンを付けた。

1876年（明治9年）創業の老舗繊維企業の谷健は、ここ数年「脱問屋」をキーワードとした新しいビジネスに挑戦して

いる。マクアケで「本気の黒タオル」に取り組み、キャンプファイヤーではオリジナルのメンズブランド「オソク」に取り組んだ。こうした取り組みを通じて、独自の物作りやネットなどの新たな販売ルートの開発を進めている。

昨夏に、新たな事業分野を探していた谷健と、物作りの受け皿やマネジメント支援などの相手を探していた名美アパレルが「協業する相乗効果で思いが一致」（両社）した。そこで互いのリソースを持ち寄って、非常者分野でのビジネスを始めたもの。

輸出を開始するためには、現地の市場動向やニーズを連携して把握する必要がある」とし、ジエトロ（日本貿易振興機構）などによる情報収集・マーケティング、販路開拓などの支援体制を強化。欧米のクラウドファンディング市場に参入するための支援なども行う。

また、4月の改正入管法施行を踏まえ、「海外展開に向けた情報収集、販路開拓などで活躍できる外国人材を採用することが重要」とし、ジエトロに「高度外国人材活躍推進プラットフォーム

オーム」を設置。ポータルサイトに、日本での就労を希望する留学生の在籍大学の情報などを掲載するほか、高度外国人材や外国人留学生の採用に関する専門家を企業に派遣する。

インバウンド拡大策では地域全体のブランドディングやキャッシュレス決済対応、多言語対応といったインフラ整備など地方への誘客策、展示会・イベントなどを国が支援する。さらに、「オープンイノベーションも推進する」ため、海外のスタートアップ企業と日本の中小企業の「ビジネスマッチングの機会も

提供する」とした。